



since 1954

のむらだより



発行所 ● 医療法人社団 秀和会 野村医院 〒660-0823 尼崎市大物町1丁目9-25 TEL:06-6481-4207 FAX:06-6401-6392 http://www.shuwakai-nomura.or.jp/ 発行人 ● 平野 学



「地域生活支援ハウスのむら」は、このたび開設一周年

「地域生活支援ハウスのむら」開設から一年を迎えました

「地域生活支援ハウスのむら」は、このたび開設一周年を迎えることになりました。これもひとえに運営を支えてくださいました地域の方々はじめ野村医院の患者さん、利用者みなさんのおかげと心より感謝申し上げます。開設当初は不慣れのため、みなさんにご迷惑をおかけしたこ

地域生活支援ハウスのむら
施設長 安井 直樹



野村医院は十月で還暦をむかえます



開業当時の野村医院と野村和夫医師（東本町）

一九五四年十月、故・野村和夫医師が東本町に「地域のみなさんのための医療を」と野村医院を開業しました。以降、野村医院は「①医療と福祉を充実させましょう②公害をなくしましょう③核兵器をなくし平和を守りましょう」の三つの願いをきっかけ、野村医師はじめ職員一同、診療活動をおこなってまいりました。現在「三つの願い」ともに、「地域に根ざし、人々の「生きる」を支えるために…」と

とも多々あったことと思いま

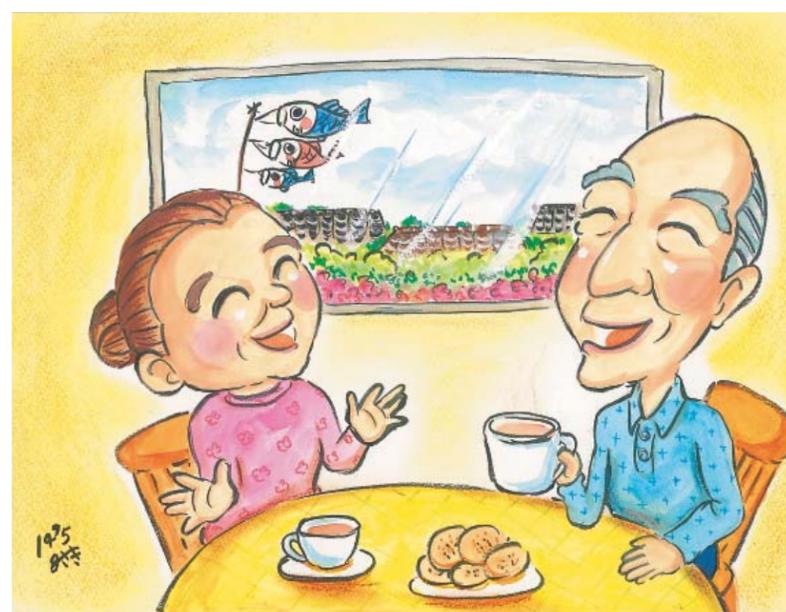
す。これからも「何かあったら『のむら』へ…」、地域のみなさんにとって頼りにされる存在になれるよう職員一同新たな決意で運営に取り組んでまいります。これからも「地域生活支援ハウスのむら」をよろしくお願いたします。

「野村医院だより」の名称変更とリニューアルのお知らせ！

現在、「医療法人社団秀和会」には、野村医院、訪問看護ステーションのむら、地域生活支援ハウスのむらと、三つの事業所があります。

そこで、「野村医院だより」あらため、法人全体を示す「のむらだより」という名称に変更しました。それにともない表題のデザインも変更しました。当院のイメージ色であるブルーを基調色に全体的にやわらかい雰囲気を出しながら、右側には消印風のナンバーリングを配置しております。

いう理念をきっかけ、楢垣理事長、中田院長のもと、医療だけだけでなく、地域のみなさんが住みなれた町で住み続けたいという願いにこたえようと昨年四月には「地域生活支援ハウスのむら」をオープンし、おかげさまで一周年をむかえることができました。そして、野村医院は今年十月で開業六十周年をむかえます。そこで「シリーズ おかげさまで60周年！」として、連載を開始いたします。患者さんや地域のみなさんの声を交えながら、すすめてまいります。たいと思っております。どうぞお楽しみに！



「快護」で地域貢献

みさき漁

ふれあい

「地域生活支援ハウスのむら」が一歳の誕生日を迎えることができました。多くの方々から、運営は大丈夫ですか？との声をかけていただいた経過がありますので、ここにお礼を込めて現況を報告します。●設立当初は、介護保険の複雑な制度に慣れず四苦八苦の連続でしたが、地域の皆さんの温かい応援もあって、利用される高齢の方々が増えて賑わいも出てきました。この「ハウスのむら」の売りは、個々の利用者さんに合わせて、生活のリズムを尊重している点です。例えば、三度の食事をゆっくりと楽し

くいただくこと、毎日入浴して身体を清潔にすること、おやつ時にはしゃべって笑うことなどです。実は、利用者さんの笑顔や元氣快復が職員の働きがいに通じて、サービスへの工夫や改善の取り組みが生まれるという良好な循環もあります。介護ではなく「快護」の精神で地域に貢献を!! という合い言葉が生まれています。人は寄合ひ、支え合ひ、相互に発達していくものだを再発見です。●利用者さんの長寿至福への支援を続ける「ハウスのむら」を覗いていただけると有り難いです。

(S・Y)